

平成27年3月13日

水研究シンポジウム-里海としての瀬戸内海のこれまでとこれから-の開催について

歴史に蓄積された伝統知・技術と IPCC（気候変動に関する政府間パネル）に代表されるような近現代特有の微細に専門分化されたアカデミズムとは、「里海」をめぐって、いかに融合されうるのか。

今回のシンポジウムでは、瀬戸内海の環境地誌編纂に取り組む村山氏、科学知と伝統知に関する中村氏の報告後、伝統知・技術と科学的知識の融合により里海復活に成功した岡山県日生の事例について田中氏から基調講演をいただきます。さらに、日生を取材されてきた伊藤氏に映像を交えながら番組制作者の視点から説明をいただきます。

1. 日時

平成27年3月21日（土） 13:00～16:00（予定）

2. 場所

香川大学 研究交流棟 5階 研究者交流スペース（高松市幸町1-1）

3. 参加者（100名程度を予定）

一般市民、自治体・行政関係機関、香川大学学生・教職員など。
参加費無料

4. プログラム 【総合司会：原 直行（香川大学 経済学部）】

【事例報告】（13:00～13:50 予定）

- (1) 里海の環境地誌をいかに作成するか-近世と前近代のはざまから-
村山 聡（香川大学 アイセツズ）
- (2) IPCC と科学知・伝統知
中村 博子（香川大学 アイセツズ）

【基調講演】（13:50～14:35 予定）

アマモとカキの里海（岡山県日生）-これまでとこれから-
田中 丈裕（NPO 法人 里海づくり研究会議）

【事例報告】（14:50～15:10 予定）

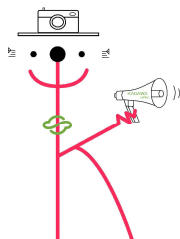
- (3) 海の森に分け入って、、、
伊藤 加奈子（NHK 報道局）

【パネルディスカッション】（15:10～16:00 予定）

5. 申込方法

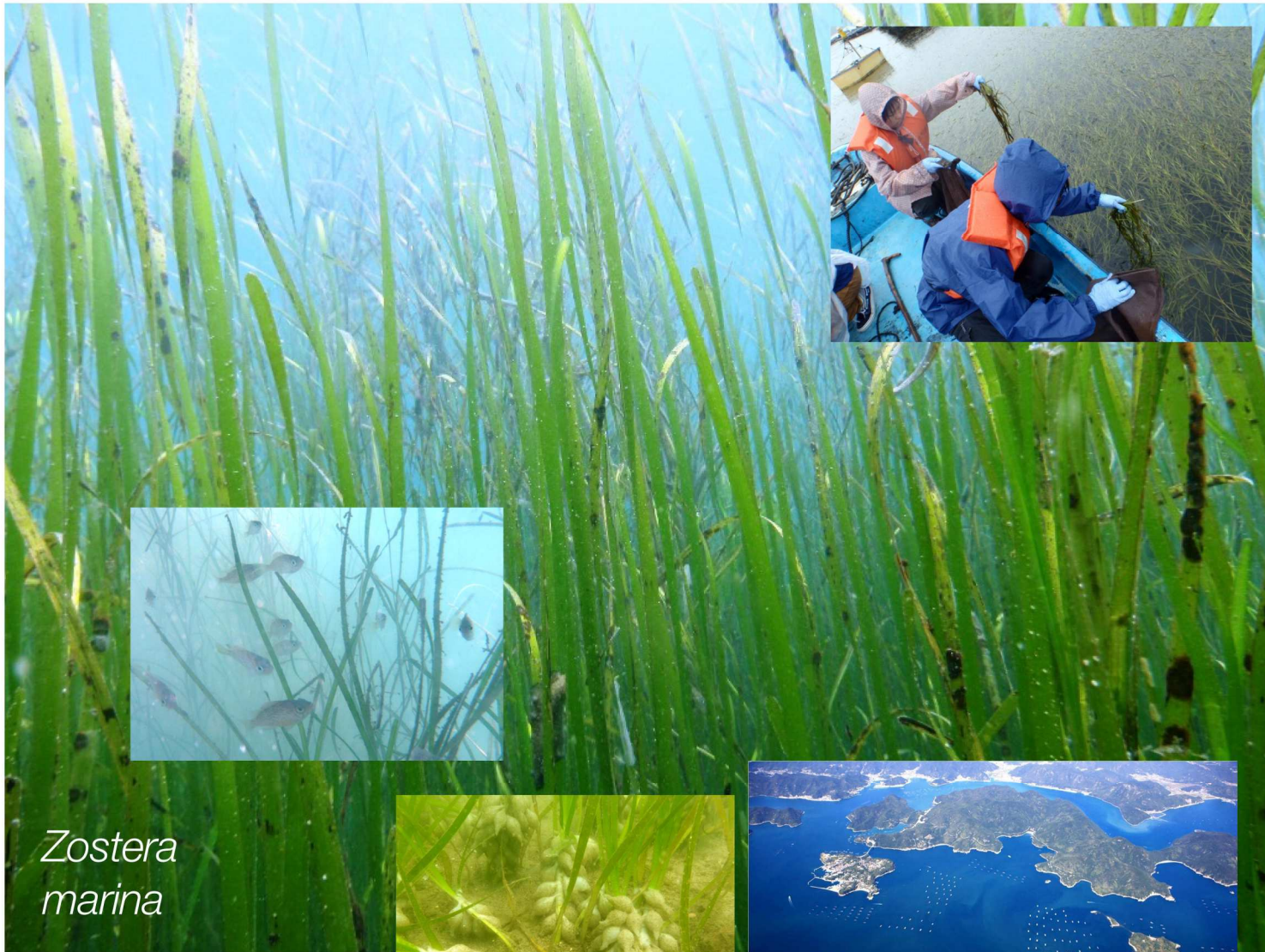
参加を希望される方は、下記問合せ先のFAXまたはメールアドレスまで

①所属 ②職名 ③氏名 ④連絡先電話番号 を記載してお送りください。



お問い合わせ先

- 国立大学法人香川大学 経済学部 原
- TEL: 087-832-1927 FAX: 087-832-1927
- メール: wws2015@cc.kagawa-u.ac.jp (香川大学 ICEDS)



*Zostera
marina*

岡山県・日生（ひなせ）のアマモ
写真提供：田中文裕氏／岡山県水産課
参照：NHK ECO CHANNEL
(2013年6月14日放送)



文部科学省
地(知)の拠点
香川大学

SATOUMI 2015

水研究シンポジウムー里海としての瀬戸内海のこれまでとこれからー

基調講演

田中 文裕 (特定非営利活動法人 里海づく
り研究会議 理事・事務局長)

モデレーター

原 直行 (香川大学経済学部)

報告者

村山 聡 / **中村 博子** (香川大学アイセツズ)

伊藤 加奈子 (NHK ディレクター)

日時 2015年3月21日 (土) 午後1時～4時

場所 香川大学研究交流棟5F

研究者交流スペース

連絡先: wws2015@cc.kagawa-u.ac.jp

URL: <http://iced.s.cc.kagawa-u.ac.jp/>

参加自由 / 参加費無料

主催：香川大学COCおよび香川大学アイセツズ (= ICEDS)